

授業科目名	野生動物学 (Wildlife Biology)						
種 類	講義	単位数	2	開講時期	3 年次後期	履修区分	必修
開 設 大 学							
科目責任教員	坪田 敏男						
その他の教員							
キーワード:	野生動物、野生動物医学、保全医学、保全生態学、環境、生態系、生物多様性、保護管理						
授業概要:	動物の生体機構のしくみを深く理解しながら、自然生態系のバランスを崩さないように環境を健康・健全な形で保全していく知恵や知識を養成することをめざす。野生動物の保護管理の現場では獣医師としての専門知識に加え生態学的な知識が必要とされることから、保全生態学および野生動物医学・保全医学の知識や技術の習得をめざす。						
到達目標:	1) 野生動物の生理や生態について総論および各論的に説明ができる。2) 生物多様性や自然生態系の成立について洞察することができる。3) 生物多様性の保全の現場で、獣医学的技術と知識を役立てることができる。4) 保全生態学と保全医学の融合により生物多様性保全の筋道を説明することができる。						
授業計画:	<ol style="list-style-type: none"> 1. 野生動物学概論：イントロダクション 2. 野生動物の捕獲と麻酔・不動化①：捕獲と麻酔・不動化の方法 3. 野生動物の捕獲と麻酔・不動化②：安楽殺について 4. 野生動物の形態と分類 5. 野生動物の生理と行動①：冬眠 6. 野生動物の生理と行動②：繁殖 7. 野生動物の生態と生息環境 8. 野生動物の疾病と感染症 9. 傷病野生動物の救護とリハビリテーション 10. 生態系の基本概念 11. 野生動物問題と倫理 12. 絶滅危惧種の保全 13. 野生動物の管理 14. 外来生物 15. 野生動物の法制度と政策論 						
準備学習（予習・復習）等の内容と分量:	毎回の講義時に配布するプリントを基に、講義内容をノートにまとめていく。教科書・参考書、配布プリントおよびノートを使って予習・復習をする（各回1時間程度）。						
成績評価の基準と方法:	定期試験の成績により評価する（出席率70%未満の者には受験資格を与えない）。60点未満は不可とする。						
テキスト・教科書:	獣医学・応用動物科学系学生のための野生動物学（村田浩一、坪田敏男 編：文永堂出版，2013，ISBN：978-4-8300-3244-8） 教科書は指定せず、随時プリントを配布する。PPT やビデオも併用する。						
講義指定図書:	哺乳類の生物学①～⑤（高槻成紀・粕谷俊雄（編）：東京大学出版会，1998，ISBN：4-13-064231-6 他） 生態学入門（日本生態学会（編）：東京化学同人，2004，ISBN：4-8079-0598-8） 保全生態学入門（鷲谷いづみ、矢原徹一：文一総合出版，1996，ISBN：4-8299-3039-X） 野生動物の研究と管理技術（鈴木正嗣（編訳）：文永堂出版，2001，ISBN：4-8300-3185-9） 野生動物の医学（中川志郎（監訳）：文永堂出版，2007，ISBN：978-4-8300-3213-4）						
履修にあたっての留意事項:							
参照 HP:							
研究室 HP:	http://www.vetmed.hokudai.ac.jp/wildlifeBiology/01.html						
備 考:							